

東京理科大学ワンダーフォーゲル部 OB 会 50 周年記念イベント

山岳リレー班山行報告

日時：2009 年 8 月 10 日（月）

場所：船窪テント場～船窪小屋～七倉登山口

メンバー：高橋 澄江(s49)、高橋 純一(s50)

ワンゲル OB 会 50 周年記念イベント山岳リレー第 2 段のうち、和田さん、木村さんの踏破した針ノ木-船窪-烏帽子のルートに同行し、途中の船窪で下山した。

以下は 8 月 10 日の下山報告です。

<8 月 10 日>

C2 (6:30) - 船窪小屋 (7:30) - 唐沢ノゾキ (11:32) - 七倉登山口 (13:54)

雨の中、スパッツ、雨具をつけて、和田さん、木村さんに見送られ、出発した。

船窪小屋によってテント代（一人 500 円）を払おうとしたら、お茶を出してくれて、上がって休んで行ったら、と言われ、すぐその気になった。スパッツ雨具を脱いで、コーヒーを飲んでのんびりした時間を持てた。

このまま、ここに泊まりたい気持ちを振りきって再び出発した。

船窪小屋はランプの宿で、囲炉裏が切っており、こじんまりした雰囲気の良い小屋だった。

小屋の女主人とバイトの人が、鐘を鳴らして見送ってくれる中、立ち止まることができずに歩きだした。写真を撮ったり、小屋の周囲をチェックしたりしようと思っていたのが・・・

小屋からはすぐに下りが始まり、昨日からの筋肉疲労がどんどんひどくなって、急な下りでは前を向いて歩けず、横向きか、おしりをつけて下る状態で、時間ばかりかかった。

唐沢ノゾキまでは樹林の中を梯子の連続する本当に急な下りで、息つく暇がないほどだけど、しょっちゅう休んで降りた。

唐沢ノゾキからは石のない、ジグザグ道をひたすら下る。駐車場の車らしき物が見えてからも長い下りだった。

下山後、駐車場の前にある七倉山荘の温泉に入った。入場料 500 円で、女湯は誰もいなかったなのでのんびり入浴出来た。

高橋車を小沢車でデポしてもらったおかげで即帰路に付けた。感謝。

その後は車の乗り降りも大変、歩くのも不自由な障害者になってしまい、三日間は階段の上り下りは手すりにつかまりながら横向きにしかできなかった。

日頃のトレーニング不足がたたって大変な山行だったけれど、今回行った山は北アルプスにしては、人の手が過剰に入っていないくて、山を堪能することができた。

蓮華岳のコマクサの群落などは、他の山だったらロープに囲まれていたり、木道になったりしているだろうなと思われるのに、特に注意を促す看板もなくきれいに咲いているのには感心した。

(2009.08.25 記 高橋澄江)